

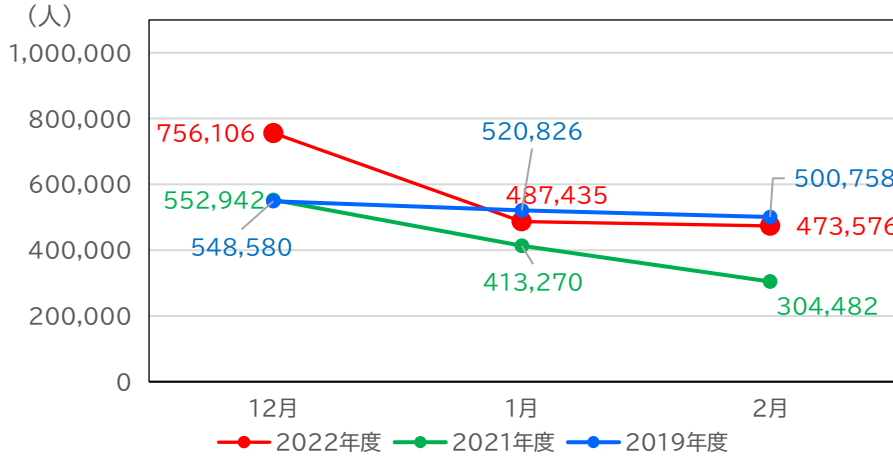
大分県観光予報観光動向レポート 1月号

対象都市	大分県	集計対象期間	2022年12月～2023年2月（3か月間）
比較対象都市	福岡県・長崎県・熊本県	比較対象年度	2021年度（前年）、2019年度（コロナ前）

大分県の宿泊動向

■宿泊者数の推移

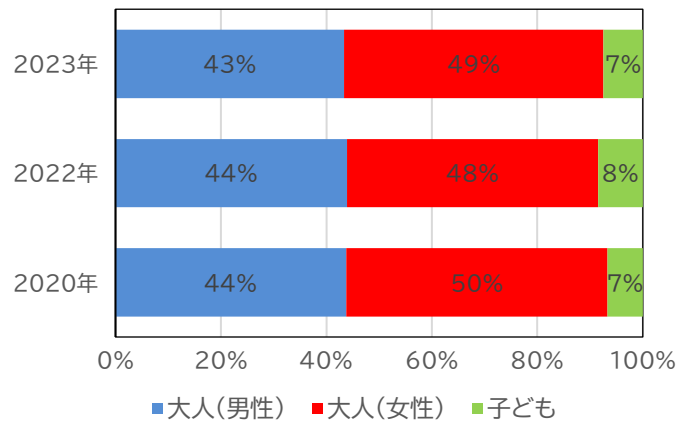
[2022年12月～2023年2月の宿泊者数（大分県 実績・予測）]



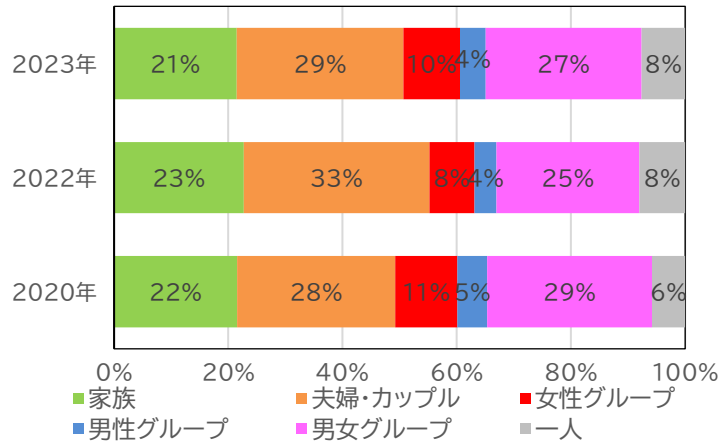
1月宿泊実績：487,435人
 （12月時点1月予測：571,505人）
 2月宿泊予測：473,576人
 （12月時点2月予測：247,816人）
 前年比（1月）
 18% 増
 2019年度比（1月）※コロナ前
 -6% 減

■宿泊者属性の動向

[大人・小人の別（1月）]



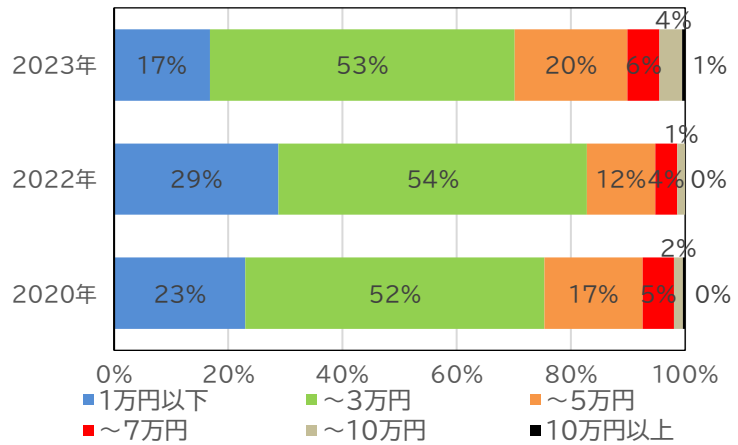
[同伴形態の別（1月）]



[当期宿泊者の居住地ランキング（1月）]

国内						
1位	福岡県	106,631	24%	6位	熊本県	15,398 4%
2位	東京都	45,545	10%	7位	愛知県	15,326 3%
3位	大分県	36,133	8%	8位	千葉県	14,004 3%
4位	大阪府	32,179	7%	9位	埼玉県	13,918 3%
5位	神奈川県	20,301	5%	10位	兵庫県	13,911 3%

[一人あたり宿泊購入額（1月）]



[市町村別の宿泊者数ランキング（1月）]

市町村名	宿泊者数 (人)	前年比 (増加率)	2020年比 (増加率)	市町村名	宿泊者数 (人)	前年比 (増加率)	2020年比 (増加率)
1 別府市	248,040	18.0%	-8.0%	10 宇佐市	759	67.2%	50.0%
2 由布市	158,921	28.2%	-0.2%	11 国東市	500	-19.2%	-27.4%
3 大分市	38,242	2.7%	-11.7%	12 豊後高田市	432	47.4%	33.3%
4 日田市	14,382	16.3%	-5.2%	13 豊後大野市	374	75.6%	62.6%
5 日出町	9,016	-5.2%	-16.6%	14 津久見市	170	3.0%	-7.6%
6 九重町	6,448	18.9%	-0.8%	15 臼杵市	113	-31.5%	-38.3%
7 竹田市	4,486	-20.5%	-30.4%	16 杵築市	-	-	-
8 中津市	4,754	-9.2%	-18.3%	17 姫島村	-	-	-
9 佐伯市	798	-26.0%	-33.7%	18 玖珠町	-	-	-

考察

【大分県の宿泊動向】

・2023年1月の宿泊者数は、全国を対象とした旅行支援が再開したことなどにより前年比18%増となったが、コロナ禍前の2020年比は-6%減となった。
 ・宿泊者の属性を見ると、2023年は旅行支援の影響などから高単価での宿泊が多い傾向にある。
 ・大分県宿泊者の居住地は、福岡県在住者が24%と引き続き多くを占めているが、次いで東京都が10%と都市部からの宿泊が多くなっている。

出典：観光予報プラットフォーム

レポート発行日：2023/2/22(データ更新日：2023/2/17)

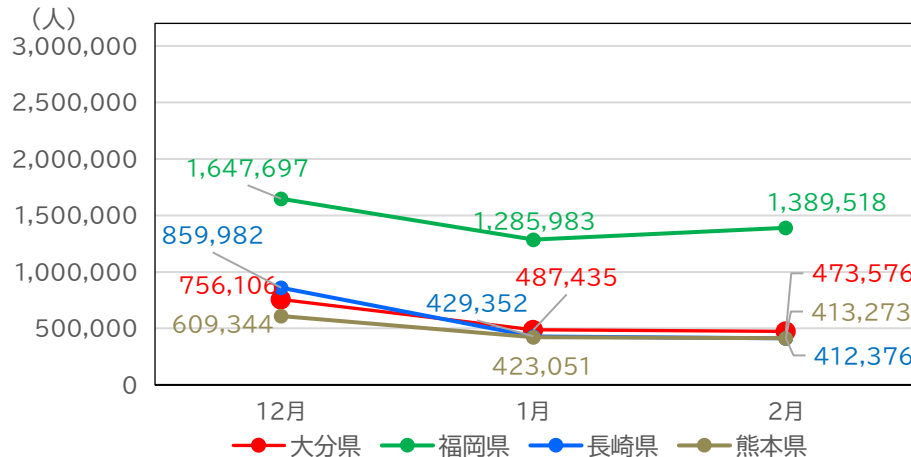
※2023年2月以降の数値は現在の予約状況及び過去の動向を踏まえた推計値です。予約数の増減に応じて随時値は変化します。

また、2022年の実績値についてはキャンセル値を随時反映しているため、数値が変化する可能性があります。

比較対象都市との比較（12月～2月の宿泊動向）

■宿泊者数の推移の比較

[2022年12月～2023年2月の宿泊動向（隣県比較）]



【各県前年比（1月）】

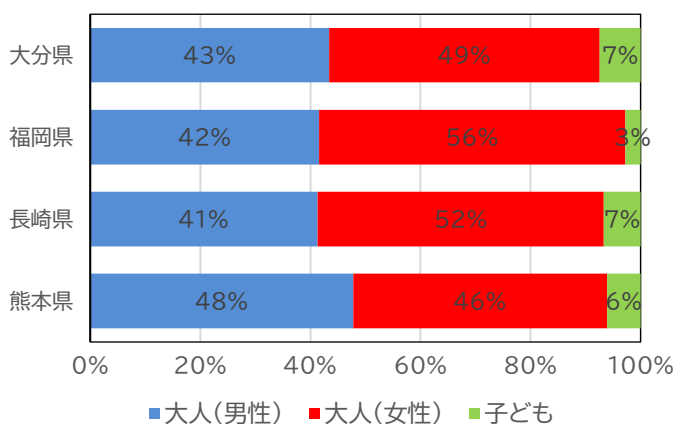
大分県： 18% 増
 福岡県： 44% 増
 長崎県： 22% 増
 熊本県： 12% 増

【各県2019年度比（1月）】

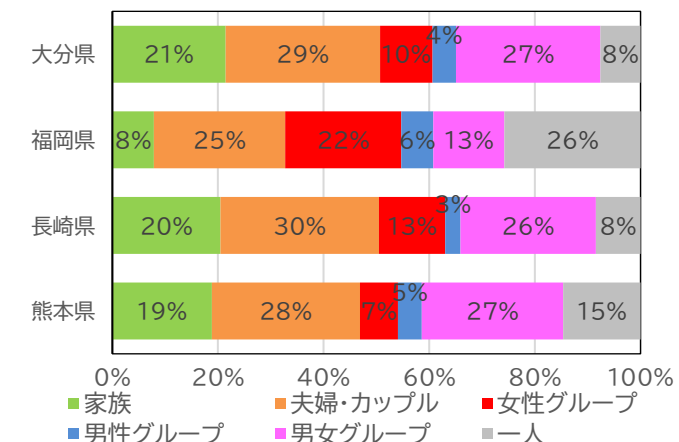
大分県： -6% 減
 福岡県： -16% 減
 長崎県： -10% 減
 熊本県： -21% 減

■宿泊者属性の動向比較

[大人・小人の別（1月）]



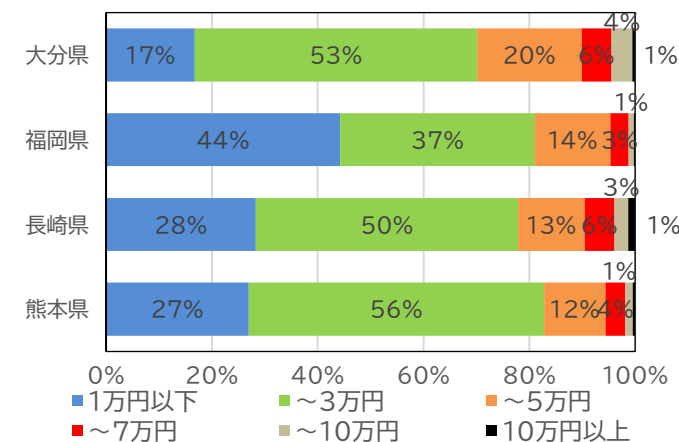
[同伴形態の別（1月）]



[各県宿泊者の居住地ランキング（1月）]

	大分県			福岡県		
1位	福岡県	106,631	24%	東京都	171,032	13%
2位	東京都	45,545	10%	福岡県	131,568	10%
3位	大分県	36,133	8%	大阪府	113,270	9%
4位	大阪府	32,179	7%	神奈川県	96,440	8%
5位	神奈川県	20,301	5%	兵庫県	68,368	5%
	長崎県			熊本県		
1位	福岡県	79,270	19%	福岡県	86,465	21%
2位	東京都	48,456	11%	熊本県	59,261	15%
3位	神奈川県	31,300	7%	東京都	47,046	12%
4位	大阪府	28,934	7%	大阪府	26,383	6%
5位	長崎県	27,783	7%	神奈川県	20,814	5%

[一人あたり宿泊購入額（1月）]



考察

【比較対象都市の動向】

- ・比較対象都市の1月の宿泊者数の動向としては、全国的にオミクロン株の感染が拡大した前年同月比は増加している。一方、コロナ禍前の2020年1月比はいずれの県も減少となっている。
- ・宿泊者の属性をみると、大分県は各県と比べて子供を含む家族での宿泊が多く、宿泊単価も1万円以上の割合が高い傾向にある。
- ・各県宿泊者の居住地としては、福岡県を除く大分県・長崎県・熊本県はいずれも福岡県からの宿泊者が一番多いが、全国旅行支援が再開したことなどから各県ともに九州外の都市部からの宿泊者が多く、特に東京都、大阪府、神奈川県からの宿泊が多い傾向にある。